

那須  
報 NASUKARASUYAMA

# 那須烏山

— No.68 —

2011  
May  
5  
Public Relations Magazine  
of Nasukarasuyama City

地震発生！あなたはそのとき………	2
公共施設予約システムが稼動………	4
第3回市議会 4月臨時会………	6
希望に満ちた春 笑顔で入学式……	7
認知症 地域の取り組み………	8
住民基本台帳閲覧状況の公表………	9
那須烏山市教育委員会会報………	11
インフォメーション………	14



余震が心配される中での入学式(4月8日、荒川中学校)

# 地震発生!

## あなたはそのとき

### 余震が続く今だから考える

「栃木県は災害が少ない県」と言われています。その反面、「防災意識が低い」と言う人もいます。

3月11日、本市にも甚大な災害をもたらした東北地方太平洋沖地震。地震発生時、皆さんはどのような行動をとりましたか。ただ揺れが収まるのをじっと待つていてしまったか。それとも、テーブルや机の下に隠れましたか。屋外に逃げましたか、市内のある小学校のクラスでは、地震発生時に児童たちが声掛け合い机の下に隠れたそうです。

また、今回の地震により市内では停電・断水、携帯電話等の不通、燃料不足、烏山線の不通などライフラインが混乱しました。さらに、テレビや新聞報道などでは、大規模な余震の発生やその時期について騒がれており、不安が募るばかりです。

ところで、今回の地震で皆さんの防災意識は高まりましたか。再び地震が起きたときの対応は丈夫ですか。これを機に、あの日の皆さんがあつた行動を見直し、反省して、自分や家族の命を守るために何をするべきかを再度考えてみてはいかがでしょうか。

家庭で、地震が起きたら…

・地震が収まつたら

その1 火元を確認しましょう。  
その2 地震後の家の中は危険がいっぱいです。状況に応じて室内で靴を履きましょう。

その3 食器棚や本棚が倒れています。離れましょう。  
その4 憂ててすぐに屋外に出ない。頭上から瓦や看板、ガラスなどが落ちてきます。  
その5 避難口を確保しましょう。

その3 ラジオ等で情報を確認します。  
その4 屋外に出る際は屋根瓦や石垣に注意しましょう。  
その5 高齢者のいる世帯が近所にいたら声をかけましょう。

その1 ラジオや懐中電灯があるかを常に確認しておきましょう。電池の確認もおこたらず。  
その2 飲料水・非常食を備蓄します。  
その3 家具転倒防止器具などで食器棚等をしっかりと固定します。



#### 災害に備えて

- その1 ラジオや懐中電灯があるかを常に確認しておきましょう。電池の確認もおこたらず。
- その2 飲料水・非常食を備蓄します。
- その3 家具転倒防止器具などで食器棚等をしっかりと固定します。
- その4 日頃より家族で「地震対策」や「家族が離れているときの集合場所」など災害について話し合っておきましょう。

# 「緊急地震速報」を利用してみては…

「緊急地震速報」とは

気象庁が中心となつて提供している地震情報のことです。地震の発生直後に、震源に近い地震計がとらえた地震波のデータから震源地や地震の規模を推定し、これに基づいて各地での主要動の到達時刻や震度を推定し、國民にできる限り早く知らせるための地震動の予報警報のことです。

気象庁では、地震波が2箇所以上の地震計で観測され、震度5弱以上の強い揺れを伴うと推定された場合に発表します。また、速報でお知らせする地域は、震度4以上のお知らせする地域です。緊急地震速報が発表されたことを知るには、テレビやラジオ、携帯電話など利用しなければなりません。テレビやラジオでは「チャイム」、携帯電話では「ブザー」の音で知られています。ただし、テレビや携帯電話等の電源が入っていないと受信できません。携帯電話での受信については携帯電話各社に問い合わせ願います。



「緊急地震速報」を受信したら…

○家庭では…

頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難。

外に飛び出さない。

無理に火を消そうとしない。

○デパート等では…

施設の係員の指示に従う。

落ち着いて行動し、出口には走り出さない。

○自動車運転中は…

大きな揺れを感じたら、道路の左側に停止。

急ブレーキはかけず、緩やかに速度をおとす。

ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意を促す。

石塀や石垣等の倒壊に注意。

瓦や看板、割れたガラスの落下に注意。

○山やかけの付近では…

落石やがけ崩れに注意。

受信してから強い揺れが来るまでは、数秒しかありません。

一人ひとりがあわてず、自分の身の安全を確保することが大切です。

## 本市への義援金 ありがとうございます



義援金を手渡す株中村製作所の  
中村彰太郎代表取締役(右)。

両方博幸 10,000円、匿名希望 10,000円、興野自治会 270,000円、臼杵邦高 5,000円、小森文夫他 3名 10,000円、平野君代 5,000円、草分元子 3,880円、㈲菱沼農機商会有志 33,243円、駒場不二夫 10,000円、小島榮一 20,000円、㈱中西製作所宇都宮営業所 100,000円、興野いきいきサロン 10,000円、薄井廣子 10,000円、市民カフェ 46,000円、那須烏山市女性団体連絡協議会 135,000円、國井豊 50,000円、塩谷均 10,000円、㈱中村製作所 1,000,000円、大木赳 10,000円、大木ハルエ 10,000円、那須烏山市健康クラブ連合会 27,783円、那須烏山市歌謡協会 10,000円、桜りん会 200,000円、那須烏山野球大会実行委員会 20,000円、山中正勝 11,000円、生きがいの郷からすやま 14,013円、みつわ工房 39,500円 (3月31日～4月25日まで受付分、受付順、敬称略)

## 東日本大震災の発生を踏まえた市総合計画等行財政関連計画に係る今後の対応について

過日3月11日に東日本大震災が発生し、死者・行方不明者が2万7千人を超えた他、経済的被害が20兆円とも言われるほどの戦後最大の被害が生じております。また、福島第一原発では国の想定をはるかに超える大事故が発生し、多くの国民が福島県内外に避難を余儀なくされています。本市でも2人の尊い命が奪われたほか、公共施設やライフライン及び数多くの民家等が損壊するなど甚大な被害に見まわれました。

この未曾有の巨大地震が発生し2ヶ月が経過しようとしていますが、今もなお頻繁に起きた大きな余震の長期化、専門家等による“日本列島は巨大地震の活動期に移行した”などの示唆、原発事故の収束の見えない深刻な状況、更には電力等エネルギー供給の不安な状況などにより、もはや国民のニーズは危機管理をはじめとする防災まちづくり対策の強化へと大きく変化しております。

このようなことから、本市においては、市民・行政が共有できる市危機管理マニュアル策定、地域防災計画や総合計画等行財政関連計画の抜本的な見直し等に早急に着手していくことにしました。

### ■平成23年度～

- ・巨大地震の発生やこれに伴う原子力災害をも想定した「危機管理マニュアル」の策定。
- ・東日本大震災の実態を踏まえた「市地域防災計画」の抜本的な見直し。
- ・上記を踏まえた、「市総合計画基本構想」の抜本的な見直し、「公共施設再編整備方針」や「都市再生ビジョン」及び「公共交通再編整備計画」の再検証。

### ■平成24年度～

- ・「総合計画後期基本計画」及び「行財政改革アクションプラン」の策定。

# ■公共施設予約システムが稼動

6月1日から、市内の体育施設がインターネットや携帯電話からの予約ができる。

## 【ご利用方法】

市ホームページから、公共施設予約システムを開きます。手順については、本紙4月号(16ページ)をご覧ください。

<http://www.city.nasukarasuyama.lg.jp/>



ここでは6/1を選択します

②

時間表に(印)とあれば、30分単位で利用時間を選択できます。予約する時間帯にチェックを入れて[予約内容の入力へ]を選びます。

[施設一覧]から予約したい施設を選び、希望日の空状況を確認します。画面上に○と△がある施設が予約可能です。希望日を選びます。

③

利用者IDとパスワードを入力して[ログイン]を選びます。

市民のみなさんの「意見」を市政に反映させるために「広聴箱」を重要な公共施設に設けています。

# ■広聴箱

市民のみなさんの「意見」を市政に反映させるために「広聴箱」を重要な公共施設に設けています。

## ■設置場所

- ①市役所(烏山市舎・南那須庁舎)
- ②保健福祉センター
- ③図書館(烏山・南那須)
- ④烏山公民館



また、市のホームページからも投稿できます。トップページ画面の左下「広聴箱」から、電子メールで「意見・」を送信できます。ホームページアドレス：<http://www.city.nasukarasuyama.lg.jp/>

お寄せいただいたご意見・」を希望は、市長が拝見し今後の政策等の参考といたします。

■総合政策課  
0287-1112-83

## 予約には、利用者登録が必要です

### ○登録するには

利用者登録申請書の提出が必要です。予約に使用するIDとパスワードは、利用者登録済証として申請後に交付します。

### ○申請方法

生涯学習課窓口やホームページからのダウンロードなどで、申請書を作成してください。(FAXでの送信も可。IDとパスワードは受付次第、連絡者の住所へ郵送します)

### 【ダウンロードできる申請書】

- ・利用者登録申請書
- ・学校施設利用申請書
- ・運動施設利用申請書  
(学校施設と運動施設では、申請書が違います。ご注意ください)

### 利用にあたり

詳しくは、利用者登録済証に同封する「公共施設案内・予約システムご利用について」をよく読み、ご活用ください。使用料の支払い、鍵の貸出、予約の取消などについてご確認ください。なお、端末を使用する際の注意事項もよくご確認ください。

【予約申込に関するご質問します】  
の画面になつたら、姓名・目的・利  
用人数を入力して【予約力】に登  
録】を選びます。

未入力があると進めません

①の画面に戻ります。左欄【予約力】  
にある申込の内容を確認して、  
【申込に進む】を選びます。

予約はまだ完了していません

申込内容に誤りがないことを確認  
のうえ、【予約する】を選択します。

仮予約は完了しました。  
利用日の5日前までに利用申請書  
を提出します(FAX可)。



「自殺予防 いのちの電話」は、  
悩み苦しんでいる人の“こころ”  
に寄り添い、希望と勇気をもって  
再び生きていかれることを願い  
開設されました。

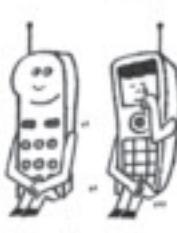
<http://www.find-j.jp/>

日本いのちの電話連盟

主催:日本いのちの電話連盟・全国加盟センター 執行:厚生労働省

～期間以外は各地域ごとに相談を受けています～

あなたがつらいとき、近くにいます。



毎月10日は、フリーダイヤル  
**0120-738-556**  
8:00～翌日8:00  
(24時間・無料です)

ひとりで悩まないで、こころの苦しみを、お話しください。  
**自殺予防 いのちの電話**



## 平成22年度一般会計補正予算など

### 専決処分3件を承認

# 東日本大震災関連の平成23年度補正予算が可決

平成23年第3回那須烏山市4月臨時会が4月26日に開かれ、平成22年度一般会計補正予算など3件の専決処分の承認や平成23年度補正予算など7議案を全て原案どおり可決しました。主な内容は、次のとおりです。

なお、質疑内容など、詳しくは議会事務局（☎0287-88-7114）までお問い合わせください。

### 平成22年度補正予算の専決処分

平成22年度一般会計補正予算、同年度簡易水道事業特別会計補正予算、同年度水道事業会計補正予算について、

3月17日付けで市長が専決処分した予算を議会に報告し承認されました。

**一般会計**は、歳入歳出とも2億4729万8千円増額して129億9975万2千円としました。内容は、3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震により、市内各地で起きた被災に対応して緊急に対処するためのものと、特別交付税額の確定に伴い、財政調整基金に1億8660万円を計上したものです。

**簡易水道事業特別会計**は、歳入歳出とも250万円を増額して1億648万3千円としました。地震により破損した水道施設等の復旧費用について計上したものです。また、**水道事業会計**は、収益的支出を1284万5千円増額して5億5555

4万円としました。地震により破損した水道施設等の復旧費用や給水活動に係る費用、放射能汚染対策としての水質検査に係る費用について計上したものです。

### 平成23年度補正予算

#### ○一般会計

歳入歳出とも11億6580万2千円増額し139億3380万2千円としました。

主な内容は、地震による災害復旧に

関するもので、住宅が半壊した人へ一律5万円支給する災害見舞金支給費。住宅や納屋・倉庫、塀などの崩壊による「がれき類」の回収や仮置き場対応費。瓦・塀並びに建築木質廃材の処理費。災害対策本部の運営に係る経費。市単独事業で支給する災害復旧等支援金と被災宅地復旧工事助成金規程に基づく補助金。罹災台帳整備のための第2次被害家屋調査に係る費用。南那須学校給食センターの内部崩壊による、給食用

のおかずの外部委託費用。

#### ○企業会計

**水道事業会計**は、収益的支出を967万4千円増額し、補正後の予算総額を5億1725万6千円としました。

主な内容は、地震により破損した水

施設災害復旧、社会教育施設災害復旧及びその他公共施設・公用施設災害復

旧に係る費用は、公共施設の維持修繕費や応急的工事等の緊急性の高い事業のみ予算計上しました。

#### ○特別会計

歳入については、東日本大震災に係る特別交付税の特例交付分や、災害復旧に係る国庫支出金、市の財政調整基金、市債を計上しました。

#### ○その他議決事項

「平成23年度農地農業用施設災害復旧事業の施行」について原案のとおり可決されました。

#### ○議会人事

沼田邦彦議員が3月31日に辞職したことに伴い、次のとおり決まりました。

・総務企画常任委員会副委員長 横山隆四郎議員 ・議会広報委員会委員高徳正治議員 ・南那須地区広域行政事務組合議会議員 高徳正治議員





緊張した表情の生徒や児童。(上から鳥山中、七合中、荒川小、江川小、右の写真は鳥山小)

# 希望に満ちた春 笑顔で入学式

ご入学・ご入園

おめでとうございます

## 新生活がスタート

4月、春本番を迎える市内の小中学校や幼稚園・保育園では、ピカピカの新入生が期待と希望に胸をふくらませ、笑顔で校門をくぐりました。

8日には4つの中学校、11日には、5つの小学校の入学式。また、市内幼稚園や保育園でも、緊張した面持ちの新入園児たちが、保護者と一緒に入園式に臨みました。

今年の小学校の新入生は、213人で、昨年に比べて19人減。中学校でも、昨年より11人少ない248人が入学しました。

鳥山小(滝原一夫校長)では、新体育館で初めての入学式。緊張した表情で式に臨んだ新入生は、校長先生や来賓の方々から「おめでとうございます」とお祝いの言葉をかけられると「ありがとうございます」と大きな声で答えていました。在校生代表の大鐘莉里奈さん(6年生)からは「わからないことがあつたら私たちに聞いてください」とあいさつがあり、この言葉に安心したのか新入生の表情も和らいだ様子でした。

入学式・入園式は、心配された東北地方太平洋沖地震の余震もなく、すべて滞りなく終了し、新入生はそれぞれの思いを胸に新生活をスタートさせました。

館で初めての入学式。緊張した表情で式に臨んだ新入生は、校長先生や来賓の方々から「おめでとうございます」とお祝いの言葉をかけられると「ありがとうございます」と大きな声で答えていました。在校生代表の大鐘莉里奈さん(6年生)

からは「わからないことがあつたら私たちに聞いてください」とあいさつがあり、この言葉に安心したのか新入生の表情も和らいだ様子でした。

入学式・入園式は、心配された東

北地方太平洋沖地震の余震もなく、

すべて滞りなく終了し、新入生は

それぞれの思いを胸に新生活をス

タートさせました。

これは、同本部が被災地の学校支援のためにと市内各小中学校に呼びかけ実現したもので、望月本部長は「子どもたちのメッセージが消しゴムやダンボール箱に書かっています。被災地への思いは届いていると思います」と話してくれました。

また、10円玉募金も併せて行われ、

集った金額は3万3534円。発送

費や手数料に充てられ、残金は東日

本大震災募金に募金されました。



在校生からは歓迎の言葉が送られました。  
(上は荒川中の佐藤律さん、左は鳥山小の大鐘さん)



集った鉛筆消しゴムなどの一部。

ひとりじゃない  
がんばれ!  
子どもたちの思いを込めて

地域住民で学校の支援活動を行っている江川地区学校支援地域本部(望月千登勢本部長)は、市内の小中学校の児童生徒の協力により集った鉛筆約1万1500本や消しゴム約1300個、歯ブラシ約2200本を4月18日と21日の2回に分けて、宮城県気仙沼市と同県内の各市町教育委員会へ発送しました。

これは、同本部が被災地の学校支援のためにと市内各小中学校に呼びかけ実現したもので、望月本部長は「子どもたちのメッセージが消しゴムやダンボール箱に書かっています。被災地への思いは届いていると思います」と話してくれました。また、10円玉募金も併せて行われ、集った金額は3万3534円。発送費や手数料に充てられ、残金は東日本大震災募金に募金されました。

# 認知症：地域の取り組み

認知症は誰にでも起こりうる脳の病気で、85歳以上では4人に1人にその症状があると言われています。

本市は県内市町で第4位、市単位としては第1位の高齢化率です。また、国や県と比較すると10年早く高齢化が進んでおり、対策が急がれています。

認知症の人が記憶障害や認知障害から不安に陥り、その結果周りの人との関係が損なわれることもしばしば見られ、家族が疲れきって共倒れしてしまうことが少なくありません。その際に、地域の支えあいなど周囲の理解や気遣いがあれば、認知症の人も穏やかに暮らすことができます。

そのために本市では、具体的に次の事業を展開しています。

(表1)

## 平成22年度 認知症サポーター養成講座実施状況

団体等	
1	民生児童委員
2	傾聴・配食サービスボランティア
3	烏山信用金庫職員
4	一般市民（南那須地区）
5	いきいきサロンサポータ養成講座
6	南那須地区介護支援専門員連絡協議会
7	食生活改善推進員養成講座
8	ディホーム利用の家族
9	谷浅見公民館
10	一般市民（烏山地区）
11	いきいきクラブ 女性部会
12	市役所職員研修
13	大木須むらづくり推進委員会
14	月次いきいきくらぶ
15	栃木銀行職員

内容は、認知症の症状や診断、治療について認知症の人と接する時の心構えや介護者の家族を理解する等です。約1時間30分の講座で、ビデオ等を用いたわかりやすい内容です。希望者が10人以上集まれば市の担当者が出向きますので、ご相談ください。

また、市ではサポーター養成講座を開催できる講師の養成（キャラバンメイト養成講座）も実施しますので、興味のある方は連絡ください。

認知症を理解し、認知症の人やその家族を見守る人（サポーター）を育成する講座です。昨年度は16団体から約700名の受講がありました（表1）。

## ●認知症サポーター養成講座を開催

## ●いきいきサロンの開催

市内の高齢者が、公民館等の身近な場所でボランティア等の協力により介護予防、認知症予防に取り組むサロンを開催しています。

## ●脳元気教室の開催

認知症を予防するため役立つと思われる取り組みを、市民グループが自主的に開催しています。



脳元気教室の様子。

## ●認知症の人への支援策… ●5月からものわすれ相談を実施します（表2）

### ③認知症の人への支援策…

（表2）ものわすれ相談  
※要予約

月	日	会場
5月	18日	保健福祉センター相談室
6月	15日	烏山庁舎市民室
7月	20日	保健福祉センター相談室
8月	17日	烏山庁舎市民室
9月	21日	保健福祉センター相談室
10月	19日	烏山庁舎市民室
11月	16日	保健福祉センター相談室
12月	21日	烏山庁舎市民室
1月	18日	保健福祉センター相談室
2月	15日	烏山庁舎市民室
3月	21日	保健福祉センター相談室



家族介護教室の様子。



●烏山台病院内の認知症疾患医療センターとの連携  
支援体制を準備中です。  
活できるよう地域住民や関係者と連携をとり、安心して生活できる

●高齢者見守りネットワーク、小地域見守り会議（社会福祉協議会）との連携  
独居、高齢者世帯でも地域で生

院のケースワーカーや地域包括支援センターの職員が相談に応じます。  
●高齢者見守りネットワーク、小地域見守り会議（社会福祉協議会）との連携  
院内に設立されています。認知症の早期発見、早期治療を推進するための専門的な診断、治療を進める専門機関です。本市との連携を強化していきます。

## ●家族介護者教室の開催

高齢者を介護している家族を対象に、介護技術の習得や介護者のリフレッシュを目的に隔月で開催しています。

## 問合せ先

0287-7115  
那須烏山市健康福祉課